

酒類ガイドライン遵守推進本部だより

ほろにかが

平成21年3月18日
全国卸売酒販組合中央会
酒類ガイドライン遵守推進本部

「競えども、争うまいと和の心」

委員 鎌谷忠雄

金融経済の崩壊に端を発して、今や実体経済の足元は大きく揺らいでいます。

生産・消費・雇用・設備投資など全ての面で急激に落ち込み、実体経済と金融経済のギャップを招いています。このギャップを解消するには、長い時間を要すると思われるかもしれませんが、この間、我々酒類業界はどうすれば生き残っていけるのだろうか。

このデフレスパイラルの中で生販三層は、中央会が検討している酒類事業法（仮称）の制定を進めることであります。また、需要の創造と価値の創造を早急に考え、このデフレを脱却しなければなりません。

需要の創造では、各地方でのお祭りやイベントを行います。このような行事には、酒は大変有効な盛り上げの一つとして欠かせません。しかし、現在は飲酒運転や健康問題等から酒の需要は遠のいています。このことに関しては、みんなで智恵を出して考えていかなければなりません。

そして、最も重要なのは、価値の創造です。パイが小さくなってきている時（酒類の消費数量の減少）こそ、その物の価値を上げるため、環境に良い物や健康を気づかった物など消費者が求める物を今まで以上に必死になって商品化していただきたい。このような商品は、少しずつ市場に出てきています。流通は、今までのようにただ価格のみで競争するのではなく、その付加価値を十分に説明し、競争していくことが大切だと思います。

お互いに切磋琢磨して、企業のため、業界のため、社会のために競争しなければなりません。この競争は、争うことではありません。和の心を持って競っていただきたいものです。

○ 平成 21 年 2 月ビール及び発泡酒等の出荷状況

(単位:kℓ・%)

区分 期間	2 月			1 ~ 2 月		
	当月数量	前年数量	前年比	本年数量	前年数量	前年比
ビール	184,817	240,576	76.8	326,289	422,102	77.3
発泡酒	91,289	113,551	80.4	156,077	204,551	76.3
小計	276,106	354,127	78.0	482,366	626,653	77.0
新ジャンル	118,977	80,760	147.3	195,305	155,382	125.7
計	395,083	434,887	90.8	677,671	782,035	86.7